

2025年度大学院博士前期課程一般入学試験（第I期）問題

| 研究科名 | 科目名 |
|----------------|------|
| 文学研究科 社会学専攻 | 選択問題 |

以下の設問から、1つを選んで解答しなさい。

1. ノーマライゼーション理念について、提唱者のバンク・ミケルセンの主張をふまえて述べなさい。
2. 知的障害児（者）の概要（基準・定義・原因など）について述べなさい。
3. 面接方法における、それぞれに長所と短所について述べなさい。
4. 順機能と逆機能について、具体例をあげて説明しなさい。

解答または解答例：

Sample Answer(s) or Outline：

1. ノーマライゼーション理念について、提唱者のバンク・ミケルセンの主張をふまえて述べなさい。

解答例

ノーマライゼーションの理念は、デンマークのニルス・エリク・バンク・ミケルセンによって1950年代後半に提唱されました。この理念は、障害者が「普通の」生活を送る権利を持ち、その生活を支える社会を構築することを目指している。

この理念は、障害者が社会の一員として普通の生活を送る権利を強調し、障害者福祉の基本的な考え方として広く受け入れられている。

バンク・ミケルセンは、知的障害者が施設に隔離され、非人間的な環境で生活していることに問題を感じ、知的障害者も一般市民と同じ生活条件を享受すべきであると主張し、これを「ノーマライゼーション」と名付けた。

主張の核心は「普通の生活条件」「社会の構築」「人間の尊厳」である。

普通の生活条件：障害者も障害のない人と同じように、普通の生活条件を享受する権利がある。

社会の構築：障害者が普通の生活を送るための社会的な支援や制度を整備する必要がある。

人間の尊厳：障害者の人間としての尊厳を尊重し、彼らが自立した生活を送ることを支援する。

この理念は、北欧諸国を中心に広まり、障害者福祉政策の転換を促しました。具体的には、施設から地域社会への移行（脱施設化）や、障害者の地域生活の実現が進められた。

2. 知的障害児（者）の概要（基準・定義・原因など）について述べよ

解答例1

知的障害は、「知的機能の制約」「知的機能の制約」「発達期に生じる」の3基準に基づいて定義される。

知的機能の制約：知能検査で測定される知能指数（IQ）が70未満であることが一般的

適応行動の制約：日常生活や社会生活において、適応行動（例：コミュニケーション、自己管理、社会的スキルなど）に制約があること。

発達期に生じる：この状態は発達期（おおむね18歳未満）に生じることが特徴。

知的障害は重症度によって「軽度」「中等度」「重度」「最重度」に分類され、軽度の場合、適応能力の面で発達の遅れが目立たないため、周囲も本人も気がつかないことがある。

解答例2

・知的障害とは、知的機能の発達に明らかな遅れと、適応行動の困難性を伴う状態。

発達期に発症し、論理的思考、問題解決、計画、抽象的思考、判断、学校や経験での学習のように

全般的な精神機能の支障によって特徴づけられる発達障害の一つである。

・適応行動の困難性とは、他人との意思の交換、日常生活や社会生活、安全、仕事、余暇利用などについて、その年齢段階に標準的に要求されるまでには至っていないことを表している。

・知的障害とは、知的能力と社会生活への適応能力が低いことで、日常生活において困難が生じる状態を指す。この状態は発達期（18歳以下）に生じることが特徴である。

3. 面接方法における、それぞれに長所と短所について述べなさい。

解答例

1) 構造化面接

長所:質問内容や評価基準があらかじめ決められているため、一貫性があり、公平な評価が可能。

面接者のスキルに依存せず、誰が面接を行っても同じ結果が得られやすい。
短所:柔軟性が低く、応募者の個性や特性を十分に引き出せないことがある。
質問が固定されているため、予期せぬ情報を得るのが難しいです 1。

2) 半構造化面接

長所:基本的な質問は決まっているが、状況に応じて質問を追加したり変更したりできるため、柔軟性がある。

応募者の個性や特性をより深く理解することができる。

短所:面接者のスキルに依存するため、経験の浅い面接者では効果的に進行できないことがある。

構造化面接に比べて一貫性が低く、評価が主観的になりやすい。

3) 非構造化面接

長所:質問内容が固定されていないため、応募者の自由な発言を引き出しやすく、深い理解が得られる。

面接者と応募者の間で自然な対話が生まれやすい。

短所:面接者のスキルに大きく依存し、評価が主観的になりやすい。

質問の一貫性がなく、比較が難しいため、評価の信頼性が低くなることもある。

4) 集団面接

長所:短時間で多くの応募者を評価できるため、効率的。

応募者同士の相互比較ができ、公平な評価が可能です。

短所:個々の応募者に対して深く掘り下げた質問ができないため、詳細な情報を得るのが難しい。

応募者が緊張しやすく、本来の能力を発揮できないことがある。

5) グループディスカッション

長所:応募者のコミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性を評価するのに適している。一度に多くの応募者を評価できるため、効率的です。

短所:ディスカッションのテーマ選びが難しく、テーマによっては応募者の能力を正確に評価できないことがある。

4. 順機能と逆機能について、具体例をあげて説明しなさい。

解答例

社会学において、順機能とは社会の制度や慣習が社会全体の安定や維持に役立つ働きを指し、逆機能とはそれが社会にとって望ましくない結果をもたらす働きを指す。この概念はロバート・K・マートンによって体系的に説明された。

例えば学校教育は、知識や技能を身につけさせ社会に必要な人材を育てるという順機能を持つ。一方で、学歴による格差や過度な受験競争を生み出し、心理的負担や不平等を拡大させるという逆機能も生じる場合がある。このように一つの制度でも、社会に対してプラスとマイナスの両面の機能を持つことがある。

出題意図：

Purpose of Question：

修士論文作成のために必要な基礎知識を問うことを目的として作問を行った。